

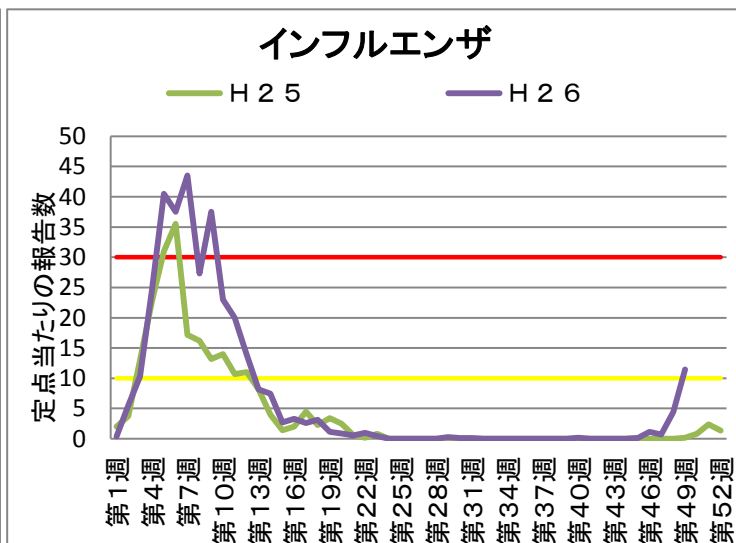
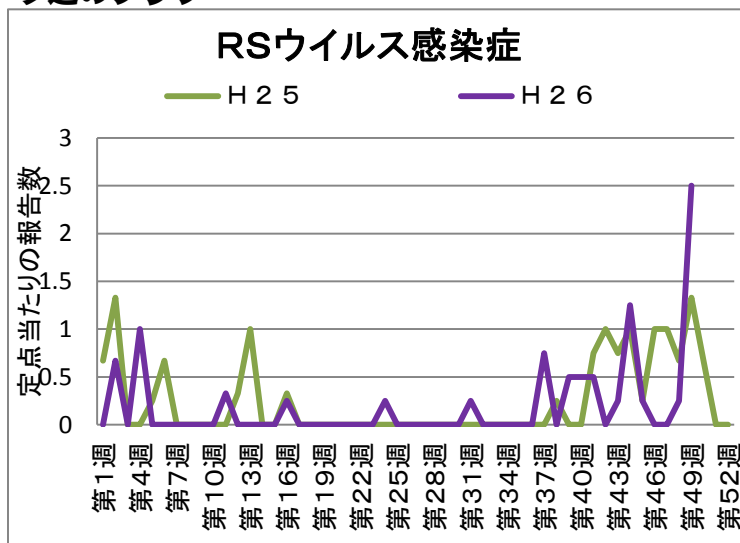
# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 49 週 平成26年12月1日 ~ 平成26年12月7日

## 今週のコメント

①RSウイルス感染症の報告が急増し、昨年度ピークの2倍の報告数(定点あたり2.5)となっています。乳幼児では上気道にとどまらず、細気管支炎や肺炎を合併することがあるので、気をつけましょう。②インフルエンザは先週流行期に入りましたが、報告はさらに増加し定点あたり11.43となりました。学級閉鎖も引き続き、報告されています。③感染性胃腸炎の発生報告も定点あたり11.75と高い状況が継続しているので、注意しましょう。※手洗い・うがいで予防が大切です。咳がある場合はマスクを着用し、周囲に感染を拡げないようにしましょう。特に感染が拡がりやすい保育園、幼稚園、学校、高齢者施設などでは注意が必要です。

## 今週のグラフ



\* 赤線 流行警戒基準値です 黄線 警戒継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	11.43	手足口病	5.75
RSウイルス感染症	2.5	伝染性紅斑	1.25
咽頭結膜熱	0.75	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.5	百日咳	-
感染性胃腸炎	11.75	ヘルパンギーナ	-
水痘	1.5	流行性耳下腺炎	-

定点当たりの報告数 = 一週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

## 参考資料等

報告週対応表

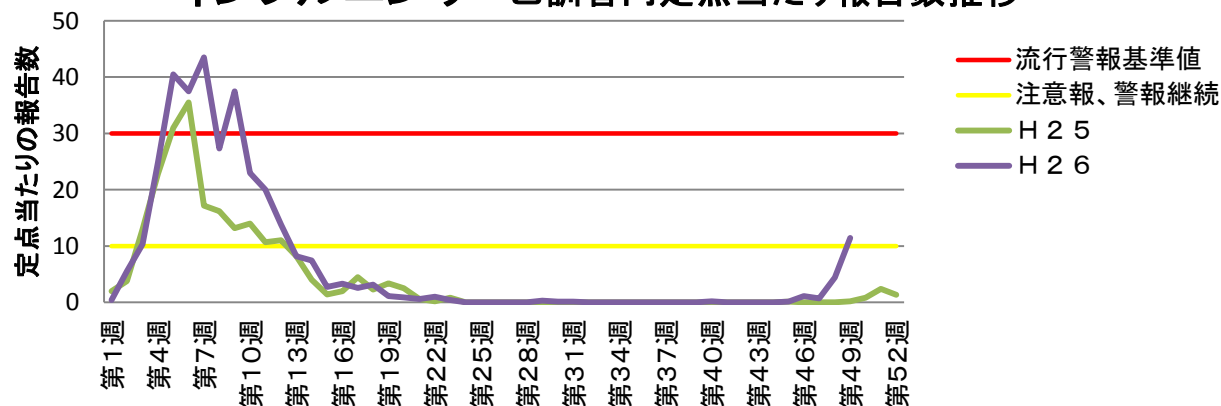
警戒・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

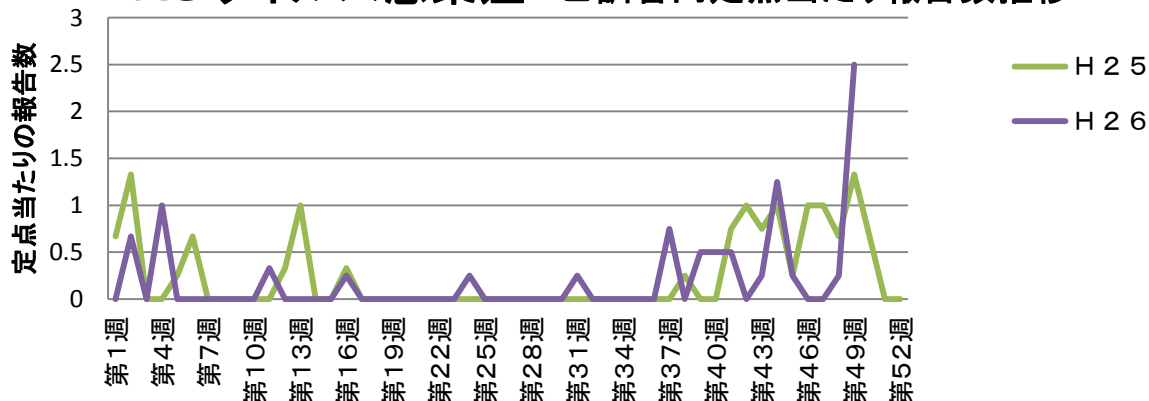
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

## 定点報告による各疾病の推移

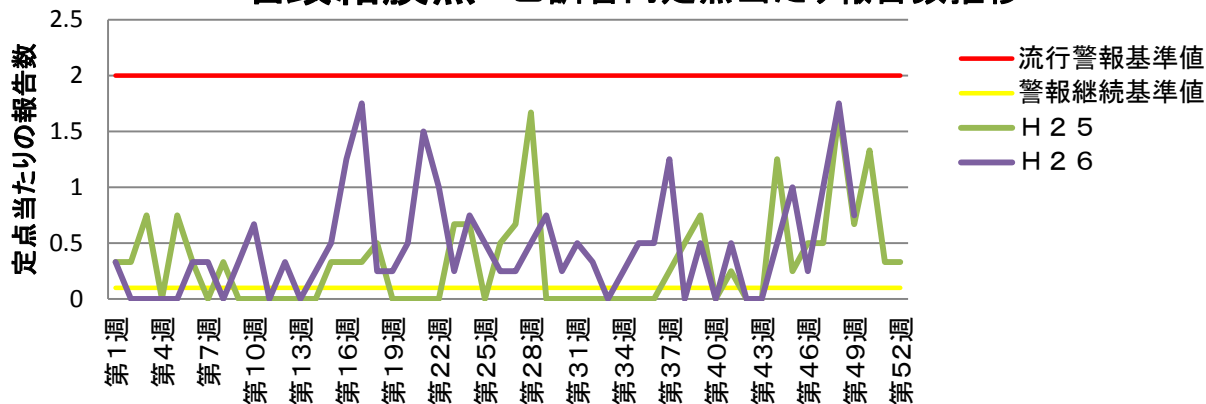
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



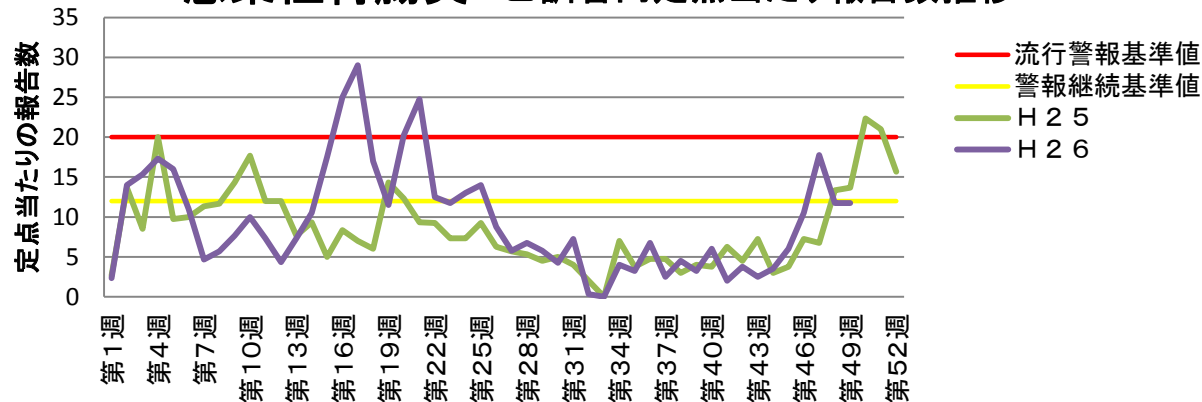
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



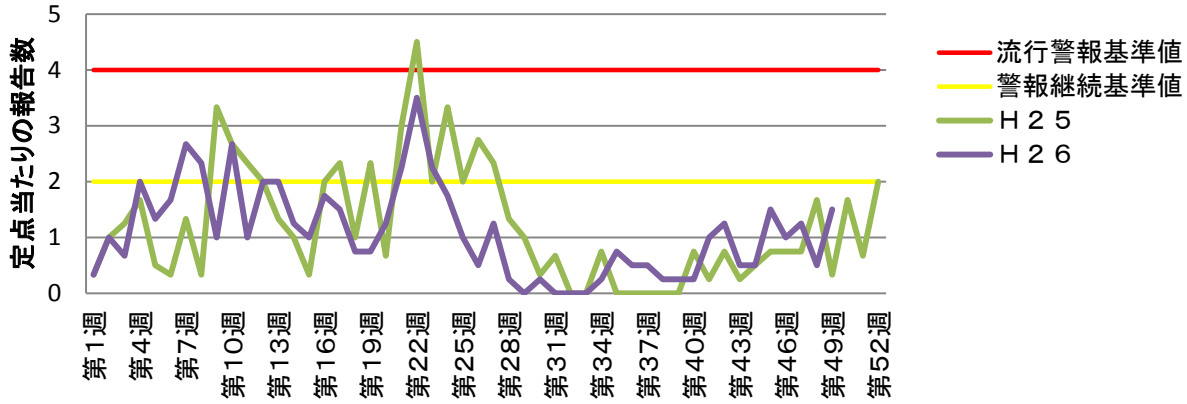
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



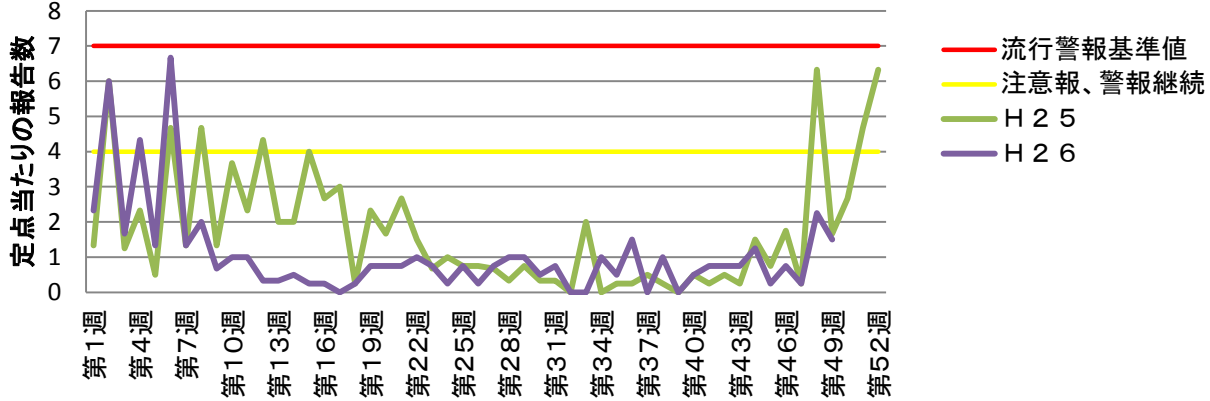
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



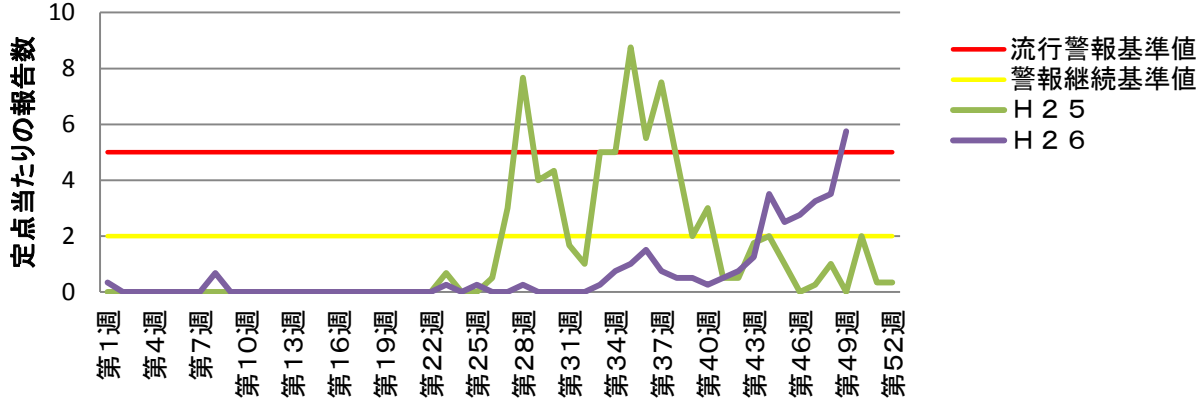
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



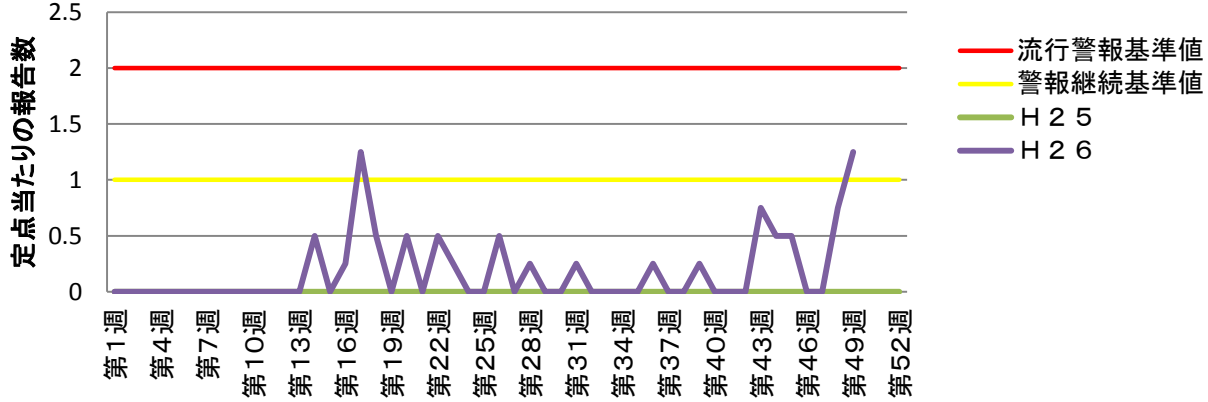
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



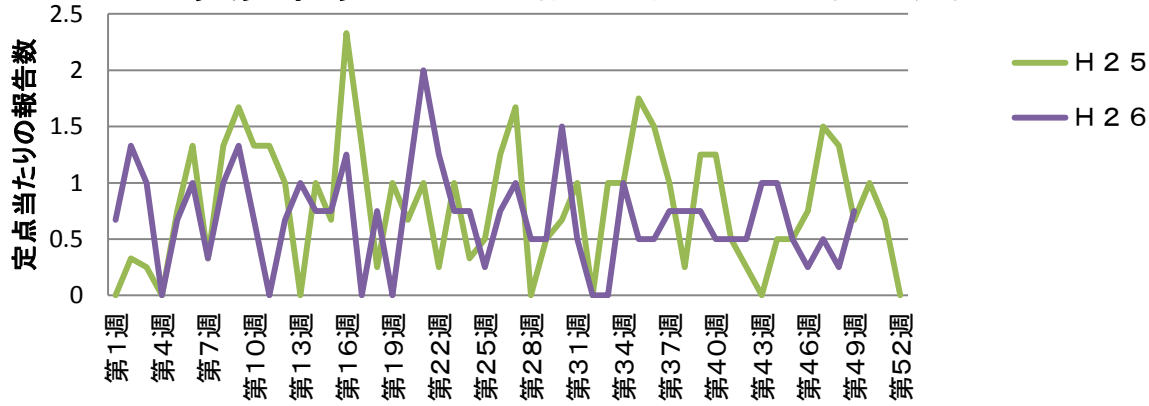
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



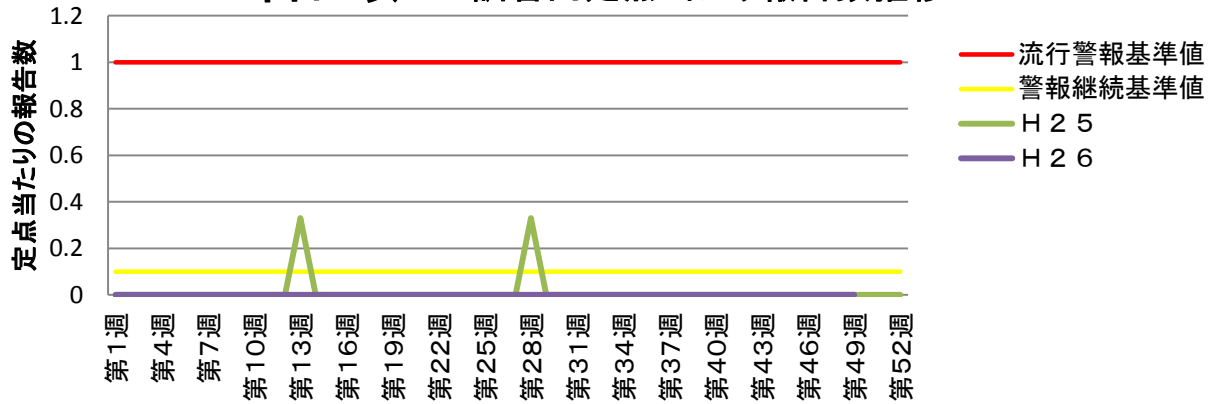
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



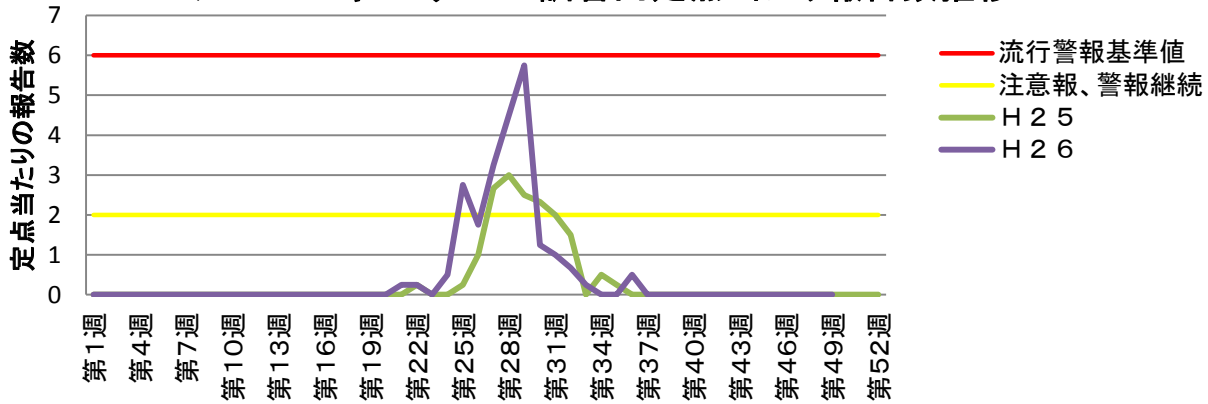
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

